

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和4年度

市町村名	ときがわ町					
提案事業名	ときがわ町活性化促進事業					
事業期間	令和2年度 ~ 令和2年度					
成果指標	(成果を検証する指標) 年間観光入込客数・年間観光消費額					
	(成果検証の具体的な方法) 無人駅となったJR八高線明覚駅を観光客等が集う拠点として整備したことによる効果を、整備前と整備後の年間観光入込客数及び年間観光消費額で比較する。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	①C・②C	
	従前値 (H31年3月時点)	①90万人 ②1,244百万円	目標値 (R4年3月時点)	①103万人 ②1,300百万円	実績値 (R4年3月時点)	①72万人 ②1,160百万円
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)	稼働率 (%)	(目標) (実績)		
住民への公表状況 及び特記事項		町HPにより公表を行う。				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① ときがわ町活性化促進事業	○	JR八高線明覚駅の一部を活用し、観光客や地域住民が集う拠点として整備したことで、観光振興や地域の活性化に繋がっている。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	平成25年11月1日より無人駅となっていた町で唯一の鉄道駅であるJR八高線明覚駅の一部を観光客等が集う拠点として整備し、観光協会の職員が常駐することで閑散とした雰囲気であった駅周辺に人の交流や賑わいが生まれた。 また、通勤・通学の利用者だけでなく、観光客やサイクリストの拠点としての効果があった。
実施事業について 成果が不十分である点	新型コロナウイルス感染症により外出等を自粛したことで、年間観光入込客数及び年間観光消費額が目標値に対し大幅な減少となった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	新型コロナウイルス感染症により外出等を自粛したこともあり、目標としていた年間観光入込客数及び年間観光消費額が目標値に至らなかった。 今後については新たな観光のあり方を模索し、年間観光入込客数及び年間観光消費額の増加に繋げていく。